

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年5月15日(2014.5.15)

【公表番号】特表2013-525266(P2013-525266A)

【公表日】平成25年6月20日(2013.6.20)

【年通号数】公開・登録公報2013-032

【出願番号】特願2012-554464(P2012-554464)

【国際特許分類】

C 0 7 K	16/18	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
G 0 1 N	33/531	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 P	25/28	(2006.01)
A 6 1 P	25/16	(2006.01)
A 6 1 P	25/18	(2006.01)

【F I】

C 0 7 K	16/18	Z N A
G 0 1 N	33/53	D
G 0 1 N	33/531	A
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 P	25/28	
A 6 1 P	25/16	
A 6 1 P	25/18	

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月26日(2014.3.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ヒト - シヌクレインプロトフィブリルについての高親和性および - シヌクレインモノマーの低結合性を有する抗体またはその断片であって、以下の組合せから選択される3種の可変重鎖(VH)CDR配列と3種の可変軽鎖(VL)CDR配列との組合せを有する抗体またはその断片：

配列番号：22、28、35、41、47及び50、

配列番号：23、29、36、42、47及び50、

配列番号：24、30、37、43、48及び51、

配列番号：25、31、38、44、47及び52、

配列番号：26、32、39、45、47及び53、

配列番号：23、33、37、43、48及び54、並びに

配列番号：27、34、40、46、49及び55。

【請求項2】

該抗体またはその断片が、配列番号：22、28、35、41、47及び50のCDR配列の組合せを有する請求項1記載の抗体またはその断片。

【請求項3】

該抗体またはその断片が、配列番号：23、29、36、42、47及び50のCDR配列の組合せを有する請求項1記載の抗体またはその断片。

【請求項4】

該抗体またはその断片が、配列番号：24、30、37、43、48及び51のCDR配列の組合せを有する請求項1記載の抗体またはその断片。

【請求項5】

該抗体またはその断片が、配列番号：25、31、38、44、47及び52のCDR配列の組合せを有する請求項1記載の抗体またはその断片。

【請求項6】

該抗体またはその断片が、配列番号：26、32、39、45、47及び53のCDR配列の組合せを有する請求項1記載の抗体またはその断片。

【請求項7】

該抗体またはその断片が、配列番号：23、33、37、43、48及び54のCDR配列の組合せを有する請求項1記載の抗体またはその断片。

【請求項8】

該抗体またはその断片が、配列番号：27、34、40、46、49及び55のCDR配列の組合せを有する請求項1記載の抗体またはその断片。

【請求項9】

該抗体またはその断片が、-シヌクレインモノマーの低結合性を有する請求項1乃至8のいずれか1項に記載の抗体またはその断片。

【請求項10】

該抗体またはその断片が、-シヌクレインフィブリルの低結合性を有する請求項1乃至9のいずれか1項に記載の抗体またはその断片。

【請求項11】

請求項1乃至10のいずれか1項に記載の抗体または断片、および医薬的に許容される担体を含む医薬組成物。

【請求項12】

請求項1乃至10のいずれか1項に記載の抗体または断片を、-シヌクレインプロトフィブリルを含む、または含む疑いのある生物試料に添加する工程、および-シヌクレインプロトフィブリルと該抗体または断片との間で形成された複合体の存在を検出する工程
を含む-シヌクレインプロトフィブリルを検出する方法。

【請求項13】

個体において-シヌクレイン病変を有する神経変性障害の発症を予防する、-シヌクレイン病変を有する神経変性障害の発症を遅延させる、または-シヌクレイン病変を有する神経変性障害を治療するための医薬的組成物の製造のための請求項1乃至10のいずれか1項に記載の抗体もしくは断片の使用。

【請求項14】

該神経変性障害が、パーキンソン病（PD）、レビー小体型認知症（DLB）、アルツハイマー病のレビー小体型バリアント、アルツハイマー病、ダウン症候群、多系統萎縮症、精神病、統合失調症またはクロイツフェルト・ヤコブ病である、請求項13に記載の使用。

【請求項15】

該神経変性障害が、パーキンソン病（PD）、レビー小体型認知症（DLB）、アルツハイマー病のレビー小体型バリアント、アルツハイマー病、または多系統萎縮症である、請求項13に記載の使用。

【請求項16】

該神経変性障害が、パーキンソン病（PD）である、請求項13に記載の使用。

【請求項17】

該医薬的組成物が、該神経変性障害を治療するためのものである、請求項13乃至16

のいずれか1項に記載の使用。

【請求項18】

該医薬的組成物が、該神経変性障害の発症を遅延させるためのものである、請求項13乃至16のいずれか1項に記載の使用。

【請求項19】

該医薬的組成物が、該神経変性障害の発症を予防するためのものである、請求項13乃至16のいずれか1項に記載の使用。